

初日の出の禮
たしまりあひるぞは朝陽 一は家一のこ



街頭タドン製造

買物しん平



獅子面の回禮

於仁久原川



笑初
マダ
ジカズ



老人の書初



スキー狂の松飾り

小原菜穂



初夢

原谷秀



街の獅子年始

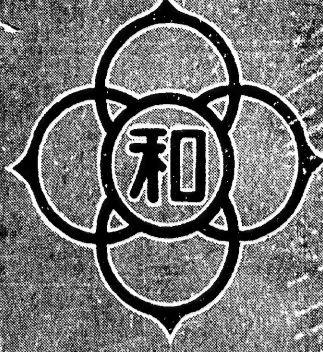
寫眞器は...
堂昌誠田島
九一九一局本話電
八〇三座口答振

職員一同	三井物産會社	北鮮製油會社	阿部吉助	職員一同	東亞運送店	清津會議所	富永源三商店	石田貞次郎	崔在龍	金鍾善	李興洋靴店	土肥醬油	釀造所	唐津麵子組合	唐津警察署	友會
川上高市	金龍喚	山田商店	金原三郎商店	國際ホテル	清津出張所	關谷正	好川寫眞館	金秉治	局員一同	富永源三商店	石田貞次郎	崔在龍	金鍾善	李興洋靴店	土肥醬油	釀造所
瀨戸茂一郎	米山喜源太	職員一同	山田商店	金原三郎商店	國際ホテル	清津出張所	關谷正	好川寫眞館	金秉治	局員一同	富永源三商店	石田貞次郎	崔在龍	金鍾善	李興洋靴店	土肥醬油
増田源三郎	入江秀夫	唐津互助會	唐津郡農會	鈴木農場	唐津農場	汚川消防組	仁川麵子製造會	北鮮水産株式會社	朝鮮電氣株式會社	國際運輸株式會社	清津支店	清津土曜會	三木兼二組	清津輸出穀物組合	唐津警察署	友會

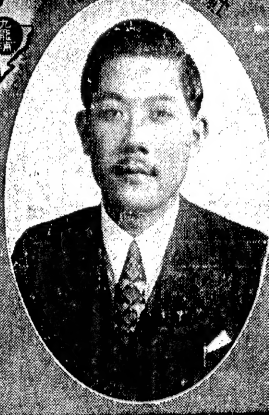
正

賀

和信連鎖店第一期設定予定地



躍進する朝鮮の和信
全縣に君臨する和信連鎖店



鮮

鮮一紙物株式會社

京城府壽松洞二六

和洋諸紙都賣元
新聞捲取紙輸入元

社長 朴興植

電話 四六九〇
光化門 二〇〇番

營經場農 及物建地土

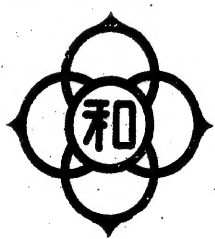
大興業株式會社

社長 朴興植
取締役 金東珍
支那人配 和信内
臨時事務所

刷印 SEN 種各

鮮光印刷株式會社

社長 朴興植
支那人配 洪麒麟
京城府壽松洞二七
電話 光化門 二五七番



株式會社

和信

皆様の百貨店

社長 朴興植
専務 李基衍

京城 鍾路
代表電話 二六八〇番

會換交刺居上紙年新亥乙

井坂圭一郎

全
州

佐藤徳重

齋藤勤

全
州

大木良作

高元勳

全
州

熊本利平

久永麟一

全
州

中谷竹三郎

蘆田定男

全
州

古谷壽朗

大田

張程

大田

大木良作

全
州

大木良作

全
州

佐伯芳吉

全
州

中村雄三郎

全
州

徐丙朝

大田

大浦秋吉

高尾甚造

全
州

西屋三郎

全
州

米倉元一

全
州

加納一米

全
州

林茂樹

林茂樹

全
州

安本常一

安本常一

全
州

宮本素一

酒井與三吉

中谷竹三郎

全
州

白根喜市

全
州

乙子住持

全
州

長谷川良

全
州

山口芳三

山口芳三

全
州

山澤和三郎

長久伊勢吉

全
州

神谷小一

全
州

中谷竹三郎

全
州

萩原彦三

全
州

渡邊根五郎

全
州

笹間博

全
州

竹部政俊

全
州

松井芳助

全
州

神林松吉

全
州

小池泉

長久伊勢吉

全
州

渡邊根五郎

全
州

阿部千一

全
州

中谷竹三郎

全
州

花岡鶴松

全
州

中村義一

全
州

石原憲一

全
州

佐治八郎

全
州

一宮健太郎

全
州

菊池一徳

渡邊根五郎

全
州

野田新吾

全
州

石原憲一

全
州

渡邊根五郎

全
州

小瀬川次郎

全
州

小口肇

全
州

【下】
久米正雄

だて来る。大ラントの前には数本
 かの櫛子が立つてゐて、人が馬山
 のやうにかつてゐる。故三は自
 転車を推して、その前に立つたの
 へは始めにあつた。さつきは櫛
 故三は俯けに、ちつとその女
 の顔を見して、故三の傍へ来て、側
 から飛下る。さき故女は眼を返さ
 なかつた。到頭して仕舞ふと、
 能面のやうな無差別の顔を急に別

探偵小説

敬三はなぜかその時、妹の顔を
ふと思ひ出した。

・ 4 ・

大テントの中は、もう、人でギ
ャリ一ぱい、敬三は窮乏、胃袋の
なかがない——とすぐ否定した。

・ 5 ・

そんな事があつてから敬三は、

[illegible]

ところであつた。

ロフは恰度、その所獲りの太い
ロフが脚裏にかけられてゐる所
所にあるので、自然手がそのロー
プにかゝつた。だが、ロフはキ
ーンと強く蹴られてゐるので、た
とひそこの體の重さを全部かけた
ところで、ビクともするやうなも
のとはなかつた。

下の方でロフが動いたらしく、
そのビク／＼光る體の様に、
赤赤の女がゐるが、右
手にその目を高く擡げてそのロ
フの後姿を見つてゐる。

その後姿は三つと云ふところ
に、儼／＼とある女を思ふたのからし
め、ロフは自分で自分だつたわけであ
つた。

その翌日、ロフは待ちかねる
うに自車庫のベタルを踏んだ。
いよいよこのサカも明日
日と云ふので近海近在から集ま
た数艘のヨシ／＼ばいだつた。

●●●

やがて忽つ間もなく潮溜りは

二 鱒 伏 井

「折柄は高月といふしうに落だしたて、身はけに船の帆もなくなつて、自分ばかりで突つてゐるつもりで、美の筆を中二とも口をきくこともできなかつたが」折柄に「船風を満喫してやう」といふ話の隙だけを捉へられたのである。(一六)

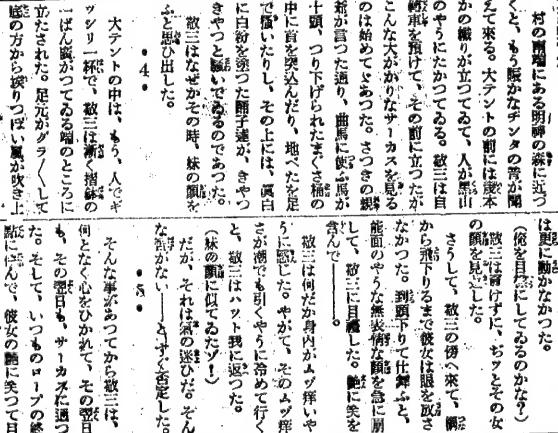
の折れ目を「節節揃へな」「こんど何處へ行くのですか」「北條殿へ」「北條殿へ」「敬三は驚愕顔になつて、「オオ」とと役女の顔を見つめた。「お郎様にどこか御飯を食連れ方で行つて下さらない」「ませーハツキリと返事をせし

本紙一萬號記念

社報日城京

一 英 村 松

初めは、やうらうらに照る代々木の木立が、土に落ちて、ゆよきこの今年にはあれと落ちて、年のはじめの落葉が、なかり梅の花はるかに日のさして、光るしつは、うひひつた



賀正

齊木商店
電話五五四六番

井上商會
電話四八八番

谷口清三郎
京城市區水邊地所

長谷川和三郎
京城市區水邊地所

崔益夏
京城市區水邊地所

西谷康藏
京城市區水邊地所

五島哲雄
京城市區水邊地所

日回陽堂藥房
京城市區水邊地所

國本久吉
京城市區水邊地所

南倉金融組合
京城市區水邊地所

夏目保夫
京城市區水邊地所

朴炫鎮
京城市區水邊地所

吉田義男
方榮道聯合

蔚山醫友會

蔚山釀造協會社

兵營釀造協會社

尹德鎬

大林金治郎

鶴城印刷所

中村寫真館

蔚山消防組

定金釀造所

相山榮一

安成商店

富士屋旅館

森田商店

蔚山自動車合

五藤義郎

松重淺太郎

中谷徳一

上原米吉

新脩二

金浩天

カフエーブルム

西龜藤吉商店

林兼支店

蔚山酒造組合

慶南道會議員

金尙熙

桂登利藏

蔚山邑長

李圭正

蔚山飛行場長
松尾幹磨

蔚山警察署長
山下義夫

外署員一同

蔚山稅務署長
仲吉寬位

日本航空警備
小田荒太郎

蔚山港內參謀長
池田正義

岩下久榮

關屋實善

金山佐性

朝鮮油脂株式會社

慶南蔚山郡

吳樹龍

沈源求

崔奉植

李仁士

李奎錫

金正元

蔚山郡廳

密陽郡廳廳員一同

米に於ける年々一分増の事實に於ける一分十九秒の非を思ふ時に、
 驚異なる地獄の事をして、滿經の希望と懸念とを以て暴露して卅五年のシベソを避るゝものである。即ち卅五年に於て、半齡水泳をした水久に田舎水泳に終るすかないなかの重大なる分岐点であると考へる人は辨つた。設備もよくつた。しつかりやうではないか
 諸君！

式會社 式會社

乙亥新年紙上后刺交換會

山名松太郎

多摩三子

平田一平
宮城本町二丁目

堀川重

高木徳彌

群山英三郎
東仲古忠

塚崎兼作

吉田英三郎

藤原喜藏

山田三郎

久我素

吉川太一郎

中村

岡嶋行續

砂田久雄

高橋伊平
宮城本町二丁目

平田堅利
日通生田町三丁目

本田弘一
三和町三丁目

吉田三
松町里

肥塚正太

吉岡定次郎

金錫炫
盛岡市

韓相龍

渡邊市造
金北東山

方義錫
城南

中村

李命福
盛岡市

劉柄義
盛岡市

山田三

三宅富治
全州

陣内利史
全州

太田房藏
盛岡市

鈴木文次郎
丁子屋

藤本修三
大崎郡

竹島銀太郎

李鍾燮
西上野町

植田

荒井初太郎
荒井牛久保

岡本桂次郎
盛岡市

池澤實
江東区

楠本圓一郎

小林幹三
盛岡市

神林松吉

堀川

谷多喜磨

鈴木忠之丞

織田正徳
盛岡市

浅野太三郎

野田董吉

堀内

山本

戸島祐次郎

廣安重都

市川泰
盛岡市

金

二宮常一

石川登盛
盛岡市

若林傳治
盛岡市

大草又七
盛岡市

ワミツ浦頂農園
盛岡市

